

糸高PR新聞

立高出会
県学校員
湯魚学委
新糸等版

生徒提案 新時代の糸高生へ 多様性尊重と糸高魅力化推進

生徒総会で「制服変更」方針提案 新入生から新制服に



糸魚川の海と山と空をイメージした青が基調のモデル。価格は一番お手頃。(山崎幹太君と石井有由里さん)



襟の白線で、糸魚川の「糸」と白い山々に川を表現。最新素材で一番高価格。(加藤一汰君と金子夏野さん)



伝統校の上品さと落ち着きを表現したモデル。羊毛比率高く手触りはいい。(荻野權君と傳田佳央さん)

新教育課程完全実施とデジタル採点システム導入等のICT化推進、推薦型の大学入試拡大で高校の教育は大きく変化しています。広域通信制高校の拡大を見てもICT化の進展は必然不可逆です。急激なICT化にも

今年で創立百十七年の糸魚川高校こと糸高。今の制服は旧制糸魚川高等女学校の統合後、新時代の糸高生の象徴として六十一年以上前に制定されたもの。今に至る過程では高田高校のように制服廃止の運動があつたり、女子のジャンパースカートの制定されたが、二十数年前廃止となったこともあった。伝統ある糸高の制服だが、現在の新素材の制服に比較すると「洗濯しにくく不衛生」「動きにくい」「皺になる」「高価」「女子制服のデザインが不人気」「ジエンダーレスの考え方に立つべき」等の意見がでるようになった。そこで糸高では、金子夏野生徒会長が「制服を変更したい」旨を校長先生に意見具申ししたこと、次の新入生より制服を一新することとなった。

本校教員は真摯に取り組み、本校の活用状況は他の進学校に先んじ

長擧 校挨拶

スクールミッション

校長 早川勝志

本校教員は真摯に取り組み、本校の活用状況は他の進学校に先んじ

の反応は上々のよう。今後は制服の着用品目録についても生徒会では原案を考え、再度生徒アンケートを行うこと。さらに学校の説明会等で来校の中学生にも投票してもらった結果も加味して十月には新制服が決定される見通しである。

「AIの発達もあり、知識偏重と言われた日本の学校教育、大学入試も変化しています。社会に目を向け、協働して知識を活用し現実の課題解決に取り組む総合探究学習が重視される背景はそこにあります」とのこと。

総合探究さらに充実

糸魚川市による総探&学習支援

糸高は総探学習に力を入れていますが、「何のため」「入試に役立つの？」と思う人もいるかもしれない。そこで校長先生と総合探究委員会の松田彰英先生に伺ってみました。「現在、アントレプレナーシップ教育(未来



現在糸魚川市から派遣されてきているコーディネーターの方々(四名)だ

高校魅力化の助っ人 いよいよおらん!

が、七月にも五名体制に。糸高に加え糸魚川白嶺と海洋高校での支援事業も本格化している皆さんだが、五名になれば「自習室「翠葵(みずき)」の運営始め、より多角的な活動が可能となる。総合探究支援に加え、自習室での学習支援や志望理由書等の推薦型大学入試支援充実に期待大。コーディネーターさんと勉強したい人は糸高へ。

会に貢献する人材を育成する学校」です。ICT活用等による個別最適な学びの実践は重要ですが、本校は、地域の生徒が同じ空間で勉学含め多様な人間関係を築く場としての学校の役割を今後も堅持していく所存です。